

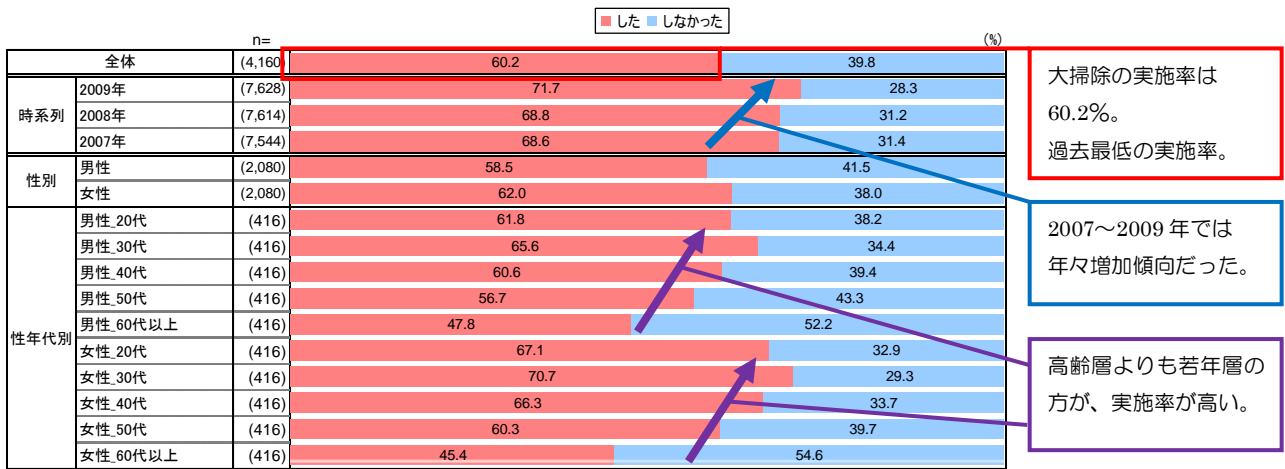
# ①大掃除実施率と日頃の掃除状況

～普段の掃除で満足！？過去最低の大掃除実施率 60.2%～

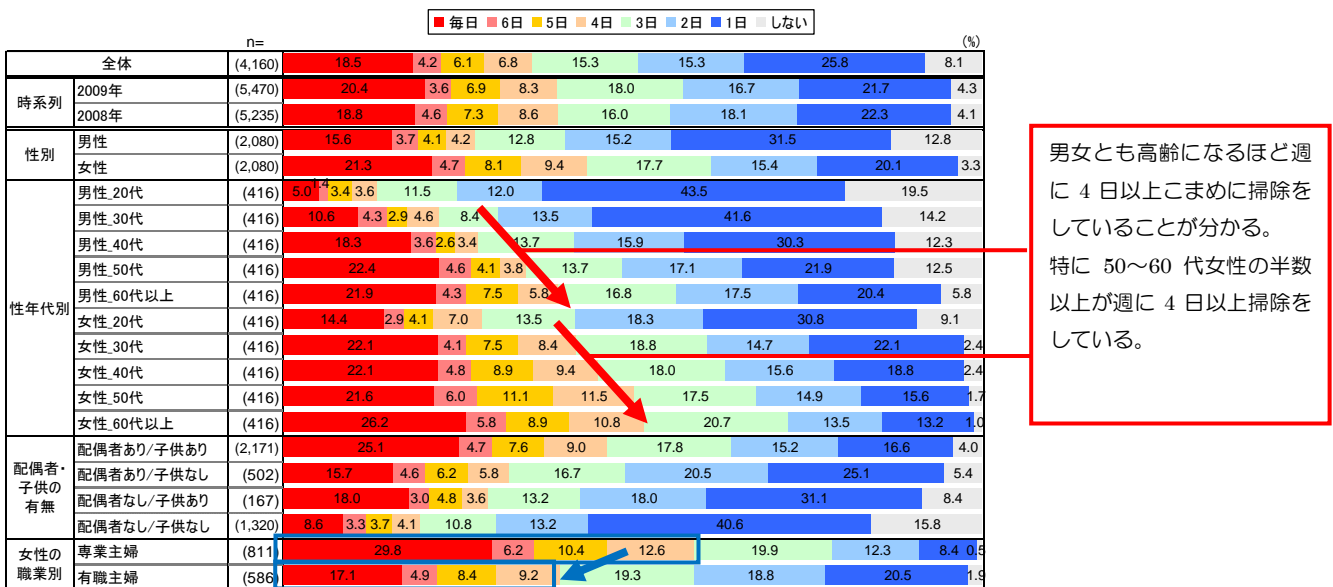
昨年の大掃除実施率は60.2%となり、2007年の調査開始以来最低となりました。

しかし、いまだに半数以上が大掃除に取り組んでいます。特に日常の掃除頻度が低い若年層は、高齢層よりも大掃除の実施率が高くなっています。日常の掃除と大掃除の割合は異なりますが、全年代で掃除に取り組んでいる結果となりました。

Q あなたのお宅では今回（昨年秋～今年の年始にかけて）、大掃除をしましたか？



Q あなたのお宅では日ごろ週に何日くらいお掃除をされますか？



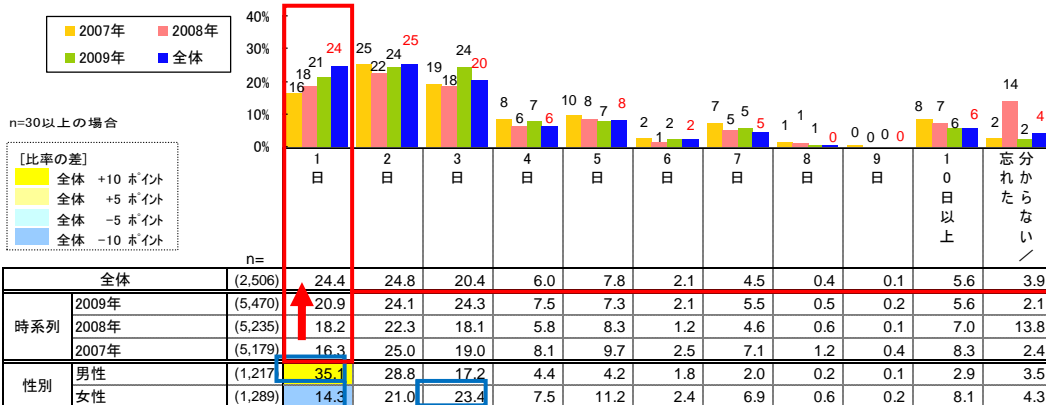
## ②大掃除にかけた日数とその理由

～まだまだ難しい！働く主婦のワークライフバランス～

昨年の大掃除に費やした日数を調査したところ、「2日」、「1日」、「3日」の順となり、中でも「1日」が年々増加傾向にあることが分かりました。特に男性ほどその傾向が強く、1日だった理由に「普段からこまめに掃除しているから1日で済んだ」を最も多くあげていることから、男性は1日で大掃除を済ませるのが適切であるという意識が女性よりも強いと言えます。一方、女性は「忙しくて大掃除の時間が取れなかったから」を理由にあげており、女性が満足する大掃除を1日で済ませるのは難しかったと考えられます。実際、女性の大掃除日数は「3日」が最も多く、大掃除実施率も男性より高いことから、女性の方が男性よりも大掃除に対して高い目標を設定していることが予想されます。

さらに、女性を職業別に見てみると、**有職主婦は“忙しさ”から掃除時間を確保することができない**という回答が専業主婦よりも高くなっています。前頁の日常の掃除状況にも現れているように、働く主婦の**仕事と家事のバランスを保つ難しさ**が顕著に表れる結果となりました。

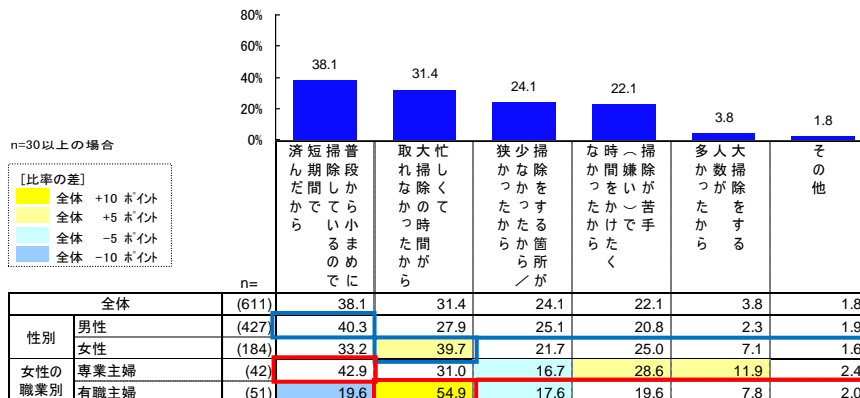
Q あなたのお宅で、今回の大掃除に費やした日数をお知らせください。



2007年以降、「1日」で大掃除を終わらせる人は増加傾向にある。

大掃除にかけた日数は、男性は「1日」、女性は「3日」がそれぞれ最も多い。大掃除にかける日数に対する男女の意識が異なることが分かる。

Q 今回の大掃除に費やした時間が「1日」だった理由を全てお選びください。



大掃除に費やした日数についての意向が男女で異なるため、「1日」だった理由も、それぞれ異なった結果になった。

主婦でも専業主婦・有職で「1日」だった理由が異なる。特に有職主婦は「忙しくて時間が取れない」という答えが突出している。

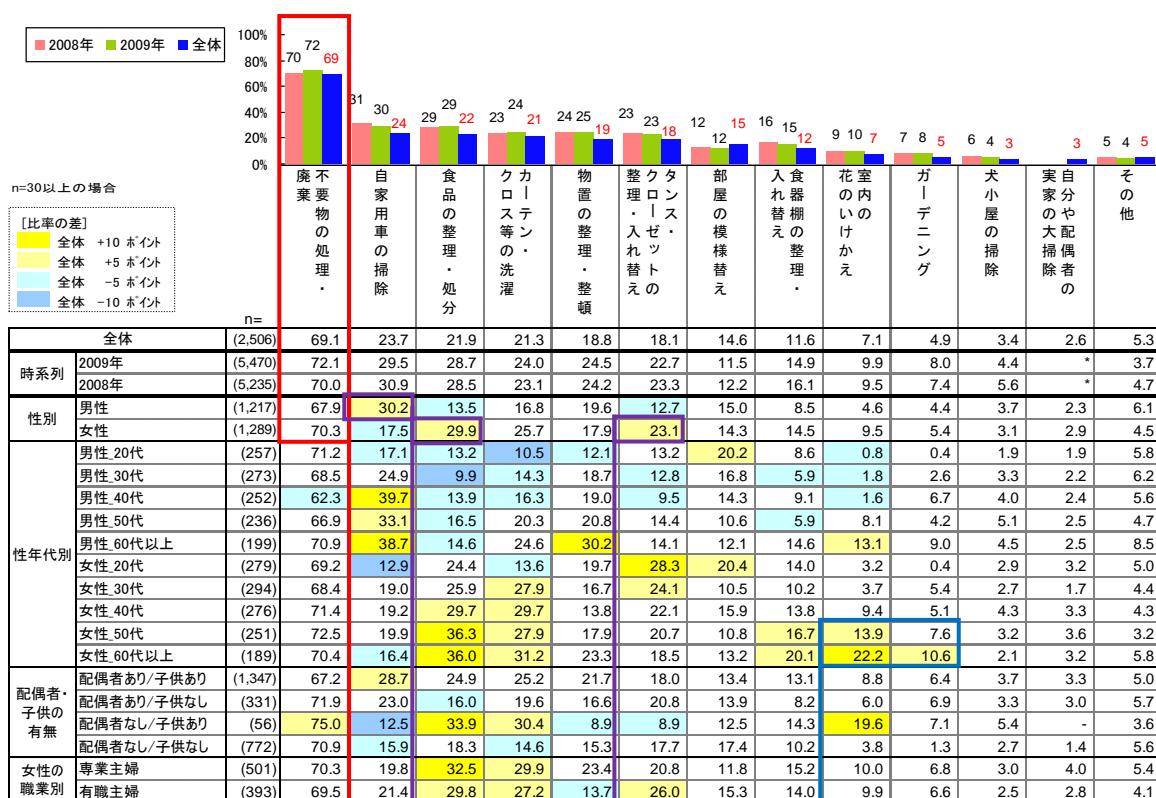
### ③大掃除と一緒にやったこと

～整理整頓だけじゃない！ベテラン主婦の余裕の大掃除～

年末大掃除と一緒にやったことを調査したところ、「**不要物の処理・廃棄**」が圧倒的に多い結果となりました。これは**大掃除を**、「物の要・不要の見直し」や**“整理整頓”**の好機と考えている表れといえます。この他、男性では「自家用車の掃除」など住居以外の部分に取り組んでいる傾向が女性よりも高く、「食品の整理・処分」や「タンス・クローゼットの整理・入れ替え」など収納スペースの整理整頓については女性の方が高い実施率になっています。

50～60代の女性についてはほぼ全ての項目で、男性や他の年代の女性より高い実施率となりました。特に「室内の花のいけかえ」や「ガーデニング」の実施については、「掃除」や**“整理整頓”**とともに住環境の**“装飾”**作業までこなす、**ベテラン主婦の余裕を感じる**ことができました。

Q あなたのお宅では、ご自宅の大掃除と一緒にやったことはありますか？



「不要物の処理・廃棄」が69.1%と、最も高い結果となった。

男性は「自家用車の掃除」が、女性は「食品の整理・処分」や「タンス・クローゼットの整理・入れ替え」が高い結果に。

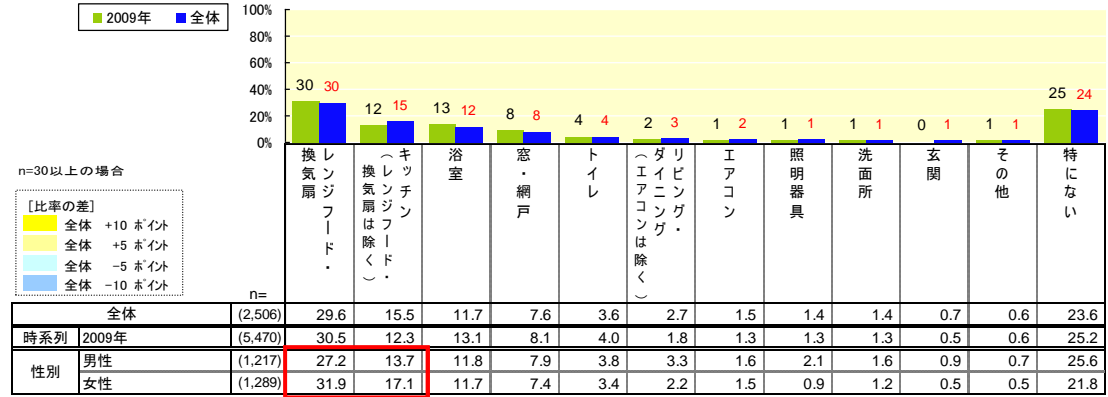
50～60代のベテラン主婦層は、大掃除の機会に“掃除”や“整理整頓”などとともに“住環境の装飾”までもこなしていることが分かった。

## ④汚れが落ちなくて困った場所と、落ちない時の行動 ～50～60代男性は、時間を気にせず落ちるまでトコトン掃除～

昨年末の大掃除で最も汚れが落ちなくて困った場所を調査したところ、**1位「レンジフード・換気扇」、2位「キッチン」、3位「浴室」**という結果になり、特に**キッチン周りの汚れに苦戦**していることが分かりました。

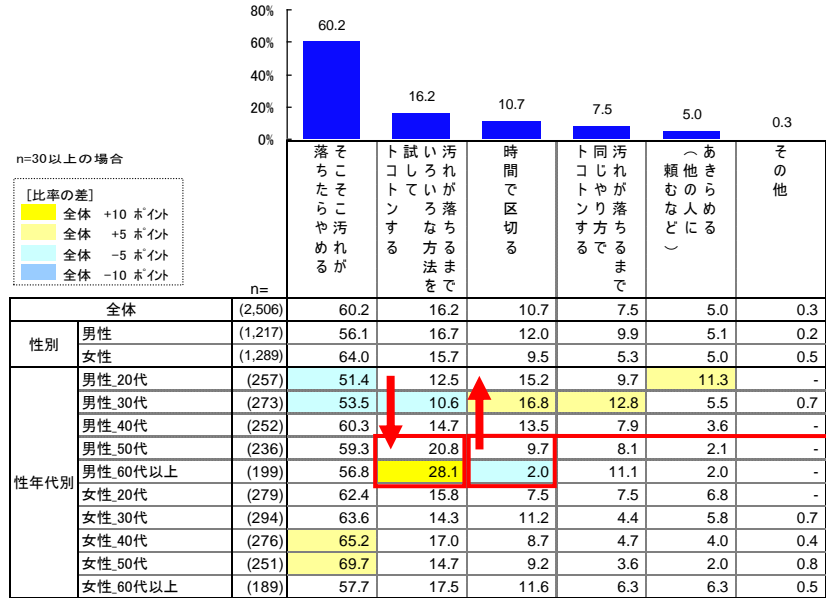
また、汚れがなかなか落ちない場所を掃除する場合の行動について調査したところ、全体では「そこそこ落ちたらやめる」という意見が圧倒的に多い結果となりました。しかし50～60代の男性については「汚れが落ちるまでいろいろな方法を試す」が、女性や他の年代の男性より多く、また時間で区切るという意見がどの年代よりも少ないことから、**50～60代の男性ほど汚れに関して厳しい意識を持ち、トコトン時間をかけて1つの場所の掃除に取り組む**様子がうかがえます。

Q あなたのお家で、今回の大掃除で最も汚れが落ちなくて困った場所はどこですか？



1位「レンジフード換気扇」、2位「キッチン」という結果となった。男女ともにキッチン周りの汚れに苦戦していることが分かる。

Q 大掃除のときになかなか汚れが落ちない箇所を掃除する際、どこまで掃除を続けますか？



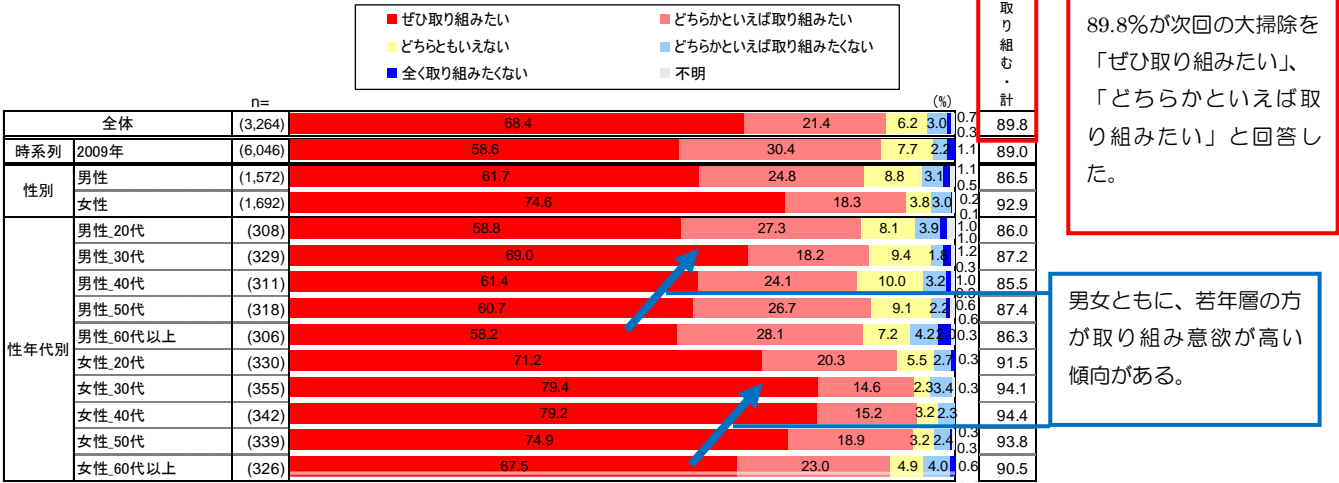
50～60代の男性は掃除をする際、時間で区切ることなく、いろんな方法を試してトコトン汚れを落とす傾向があることが分かった。

## ⑤2010 年末の大掃除への意欲と主導権争い ～男性の大掃除実施意欲は高いが、いまだ女性主導は変わらず～

2010 年末の大掃除を実施する予定の人は 78.5% でした。実施予定の人を対象に取り組み姿勢を尋ねたところ、89.8%の人が「ぜひ取り組みたい」、「どちらかといえば取り組みたい」と答え、実施意欲が高いことがわかりました。

しかし、家族の中で誰が主導して実施したいかという問いでは、全体では 6 割以上が「自分主導」と回答したものの、男女別に見てみると女性の 80%が「自分主導」と答えているのに対し、男性は 47%に留まっています。近年、男性の家事への参加意欲の向上が話題となっていますが、今回の調査からは家事の主導権はいまだ女性が中心であることを示す結果となりました。

Q あなたは次回の大掃除に取り組みたいと思いますか？



Q 次回の大掃除は誰が主導で実施したい（してほしい）ですか？

